



吉川 慶一
議員

質問 糸魚川市の農業の持続と農地の維持について

- (1) 中山間地域の農業を持続させるための課題は何か。どのような施策を行い、今後どのような展開を図るのか。
- (2) 農地の維持・保全について、耕作放棄が進む現状をどう捉えているか。また、耕作放棄地とならないための対応についてどうか。

▼市長答弁

- (1) 日本型直接支払制度をフルに活用し、農村環境の保全活動や農業用水路等の長寿命化を支援している。
- (2) 農地の持つ多面的機能が阻害されるだけでなく、集落の存続にも関わる大きな課題と捉えている。耕作放棄地とならないための対応については、担い手への農地集積や基盤整備の推進と、山菜やよもぎ等の地域振興作物の導入を促進している。



古畑 浩一
議員

質問 柵口温泉権現荘の放漫経営の責任と今後の取組について

支配人の現場責任及び市直営施設としての行政の監督責任を問う。

- (1) なぜ赤字となったのか。検証結果を問う。
- (2) 労働基準法を逸脱した労務の実態について、1,500時間を超える時間外労働、労働基準法違反の実態になぜ気がつかなかったのか。労働基準法違反の責任はどうか。
- (3) 支配人の業務実態と違法性の検証について問う。
 - ① 特別室無断使用、② 無料での飲食サービス、③ 取引業者との不適切な関係、④ 勤務中の飲酒・泥酔、⑤ 職員研修に友人・取引業者を同行させることは許されることなのか。
- (4) 支配人の現場責任・能生事務所の管理責任・行政の監督責任・社長としての全責任をどのように取るのか。

質問

市民の健康と医療受診について

健康を保つためにも病気の早期発見、治療が重要である。市民が健康を維持していくためにどのような指導を行うのか、地域医療について問う。

- (1) 市民のドック受診状況の推移と結果、再検診の状況について
- (2) 糸魚川総合病院の受診状況、二次病院の機能の現状と課題について
- (3) 健康維持のための指導メニューの計画について

▼市長答弁

- (1) 各種健診の受診率は向上しており、さらに新規受診者の増加を図るなど向上に努めている。精密検査の受診状況はおおむね90%～95%で、ほとんどが市内の医療機関を受診している。
- (2) 通院の患者数は減少傾向、入院患者数は前年並みとなっている。また、救急医療体制を確保しており、受入実績は増加している。常勤医師が不在の脳神経外科については市外搬送も多く、課題となっている。
- (3) 「第2次健康いといがわ21」に基づいて、高血圧や慢性腎臓病対策等の健康づくり施策を推進している。

▼市長答弁

- (1) 権現荘のリニューアルは赤字体質から脱却するために行ったもので、収支は平成27年8月からリニューアル後1年間は約400万円の黒字となっているが、平成27年度については休館による収入減や食事の原価管理が不十分だったことにより、2,300万円の赤字となったものである。
- (2) 権現荘の現場に任せていたことと、月ごとの時間外勤務のチェックが不徹底だったことによるものであり、一義的には現場責任者である支配人と、それを監督すべき能生事務所に責任があると考えている。
- (3) ① 宿泊者の安全を確保するために、やむを得ず宿泊する際に使用していた。② 支配人の裁量でリピーターを増やすためにおもてなしの一環として行ったものであり、一定の基準が必要であったと感じている。③ 利害関係者と必要以上に親密にならないようにするべきであると考えている。④ お客様をもてなす中で飲酒することはあったものと聞いている。⑤ 休日での自主研修であったが、職員だけで参加するべきであり、不適切であったと思っている。
- (4) 様々な検討を行った結果、支配人については9月末日までで雇用を終結することとした。また、行政の管理監督責任についても一定の段階で責任を明確にする。